

平成25年度決算特別委員会発言要旨

江戸川区議会第3回定例会において、決算特別委員会が行われ平成24年度の決算審査がありました。以下質問要旨を載せます。なお、詳しい回答等は次回載せたいと思います。

◎一般会計歳入では、特別区民税で5年間人口が増えているが、反対に納税義務者が減っているがそれはなぜか。

◎議会費では、仙台市議会でのポスター掲示を駅構内や市電の中で掲示し、開かれた議会をアピール。江戸川区においても提案するので検討を要請。

◎総務費では、同和問題で大阪市の橋下徹市長を誹謗中傷し、人格までも否定した朝日新聞系週刊朝日を題材に、今なお同和問題はなくなっておらず、同和問題を単に人権問題にすることはかえって本質を見誤る危険性があり、反対と述べた。

○庁舎管理の面で、庁舎の5階にみずほ銀行小松川支店の主張所があるが、みずほ銀行は暴力団に資金を貸していた行為が明るみに出て、社会の批判の中にある。昨年暴力団排除条例を作った江戸川区として毅然とした態度を示すべきだ。

○選挙費では、今年の参議院議員選挙において公営掲示板の余白の部

分に、効果的な期日前投票のお知らせ案内を掲示したことは選挙管理委員会のヒットだと思う。更に投票率向上のために積極的に策をうってほしい。

◎環境費では、小松川清掃事務所の合理化、アウトソーシングについて、地域住民の不安やそこに働く職員の労働条件の変更に問題があるのではないかと問いただした。

◎健康費では、保健所の掲示物が古くなって破損したものや日焼けして見えにくくなったものがあり、改善型要請した。また、他のかでも同様の掲示物が破損や見えづらいものも散見するので改めるよう要請した。

◎都市開発費では、東京都が行う「木密地域不燃化10年プロジェクト」に伴い、江戸川区の木造密集市街地の改善や延焼遮断帯である都市計画道路の推進をさらに進めるよう求めた。